

行政視察報告書

令和6年 10月 30 日

長浜市議会議員 高山 享 様

長浜市議会議員 竹本直隆

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度健康福祉常任委員会行政視察
2. 視察期間 令和6年10月21日（月）～10月22日（火）
3. 視察場所及び目的
 - ①埼玉県入間市
児童発達支援センターについて
 - ②愛知県知多市
認知症について
4. 調査内容感想等

・視察の目的

①児童発達支援センターの支援体制やサービスの向上、支援事業の拡充など、心身の発達に遅れや障害のある児童とその家族への支援と相談事業について、児童とその家族が安心して暮らせる環境を整えるために、市としてどのような施策を進め、どのような中長期的なビジョンや目標を描いているのかを視察目的とした。

②知多市認知症施策推進条例の制定についての先進地としての取り組みや、至った経緯及び自ら認知症の予防に努めるとともに、認知症に関する正しい知識を入手し、認知症の人及びその家族に対する理解をどのように深めるかを目的とした。

・視察内容

児童発達支援事業、相談事業、地域支援事業に関する包括的な取組と成果につ

いて

○児童発達支援事業

- ・公認心理士による、児童指導員に対する技術指導・支援
- ・年一回kidsスケールを実施し、発達段階を保護者と共有。
- ・職員専門研修の実施。

○相談支援事業

- ・当センターで情報を一元的に管理することは行っていない。
- ・それぞれの機関で持っている情報や支援について効果的に引き継がれない場合がある。保幼小ー保護者、児発ー保幼小ー保護者で共有、引継ぎがスムーズに行える仕組み作りが必要。

○地域支援事業

- ・開設以降、相談事業の日ぎゅうが大きく、地域支援事業の展開が十分に行えていない。
- ・令和7年度以降第2期計画では段階的に地域支援事業を展開し、地域の支援力向上を目指していく。

②認知症対策全般について本市の取り組みについては、ちた・あんしん見守りネットの運用状況と登録者支援体制について、不明時の対応手順について、あんしん見守り賠償責任保険の内容と利用状況、あんしん見守りシールの役割と普及状況、あんしん見守り賠償責任保険の申請プロセスと注意点について、あんしん見守り賠償責任保険の保険金額と対象者について、あんしん見守りシールの追加注文手続きと普及状況について、認知症高齢者等あんしんネットワーク事業における登録者の支援体制と認知症サポーター養成講座について、認知症条例について、条例制定時、関係機関や認知症当事者へのヒアリングでどのような意見や要望が反映されましたか等。

- ・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

①人間市では発達支援事業施設が9園と長浜市よりも多く、選択しやすい環境にある。長浜市では発達検査から相談事業所までに療育判定会議や0～3歳ま

では健康推進課、4～5歳が発達支援室に分かれ、そこから療育判定会議にかけられ、その後相談事業所による計画相談となる。手続の簡略化が求められるのではないか。（例）発達検査から相談事業所に移行・米原市
長浜市の発達支援は全年齢を対象にしているので、相談件数が多く、あれもこれもと組織の肥大化が進み、迅速な対応がしづらくなるのではないか。組織の統合を含めた再構築が必要と感じた。

②認知症基本条例が設置することで地域社会の変化が大きく変わることがないのはどの地域でも同じであるが、取り組む姿勢がポジティブであれば、地域の理解が深まることは明白である。取り組まれている事業は長浜市で既に施行されている事業がほとんどで目新しいものはなく、他の自治体が認知症条例を策定したことによって、追随したように思えた。。